

第70回国民体育大会 栃木県選手団の成績

総合成績

		冬季大会得点	本大会得点	合計得点		順位
天皇杯	今大会	47(30)	582(370)	629(400)	1029	19位
	前大会	77(30)	489.5(370)	566.5(400)	966.5	23位
皇后杯	今大会	0(20)	164.5(270)	164.5(290)	454.5	31位
	前大会	0(20)	250(270)	250(290)	540	20位

※()は参加得点

第70回国民体育大会を振り返って

第70回国民体育大会の成績は、天皇杯19位(1029点)皇后杯31位(454.5点)であり、女子種別で大きく順位を落としたものの、男子種別が栃の葉国体以来最高の競技得点を獲得したことにより、2年ぶりに天皇杯10位台の成績を収めることができた。

(1) 冬季大会

スケート競技のスピード競技では、成年男子2000mリレーで7位入賞を果たした。アイスホッケー競技では成年男子が6位、少年男子が3位入賞と活躍した。スキー競技は成年男子Aの長友海夢選手が入賞は果たせなかったものの、シード権を獲得し、71回大会に向けて期待ができる結果となった。

(2) 関東ブロック大会

関東各県によるハイレベルな競技が行われた。関東ブロック予選実施32競技中(アイスホッケー競技を除く)、17競技27種別が本大会出場権を獲得した。通過競技数は昨年度より1減であるが、通過種別は1つ上回る結果となり、天皇杯23位だった昨年とほぼ同等の通過状況と言える。

本大会でも上位入賞が期待されたソフトボール成年女子の敗退、68回東京国体で優勝したバスケットボール成年女子の敗退など、関東ブロックを突破するのは依然容易ではない。しかしながら、銃剣道競技(少年男子)が準優勝を果たし、栃の葉国体(昭和55年)以来35年ぶりの本大会出場を決めるなど、2巡目国体に向けて確実に成果を出し始めた競技もある大会であった。

(3) 本大会

今大会は、栃の葉国体に次ぐ高得点(464.5点)を獲得した男子種別が活躍した大会であった。ホッケー少年男子の26年ぶりの優勝を始め、クレール射撃・山岳・成年男子ソフトボール・成年男子ゴルフ・ボクシング競技等で上位入賞を果たした。さらに、ウェイトリフティング山根大地選手の2冠や、栃の葉国体以来の本大会出場を決めた銃剣道少年男子6位入賞も果たした役割は大きい。

それら男子の活躍に、水泳競技成年女子飛び込み榎本遥香選手や競泳少年女子400mメドレーリレーの優勝、ホッケー成年女子・少年女子らの活躍を加えた結果、今大会の躍進につながった。

(4) 総括

今大会では、成年種別・少年種別がほぼ同様の割合で得点を獲得する結果となった。天皇杯で10位台に返り咲くことができた要因として、ホッケー・山岳・アイスホッケー・ソフトボールなど高得点の団体種目が、上位入賞を果たしたことが挙げられる。

また、昨年の長崎国体において競技得点を獲得できなかった競技の中で、新たに6競技(銃剣道・空手道・ボクシング・フェンシング・剣道・クレール射撃)が得点を獲得したことも特筆すべき点である。更に今大会では、萩野選手が大会直前に棄権をしたものの、競技得点66.5点(昨年度67.5点)をあげ、あらためて本県競泳界の強化の成果と選手層の厚さを示すこととなった。

7年後に控える国体本県開催に向けて、各競技団体関係者や選手の意欲向上を感じる中で、天皇杯・皇后杯を獲得するためには、現在なかなか結果を出すことのできない競技の底上げを図り、競技団体と関係機関とが手を携え、共通の目標に向け、協調して強化にあたっていくことが重要と考える。

入賞者一覧

1 冬季大会

No.	競技名	種別	氏名	種目	順位	得点	競技別得点
1	スケート(スピード)	成年男子	栃木県	リレー 2000m	7	2	2
2	アイスホッケー	成年男子	栃木県		6	15	45
		少年男子	栃木県(日光明峰高校)		3	30	

2 本大会

No.	競技名	種別	氏名	種目	順位	得点	競技別得点	
1	陸上競技	少年男子 A	高内 真荘	走幅跳	4	5	10	
		少年女子 B	福田 奈央	100 m	6	3		
		少年男子 B	落合 廉	100 m	7	2		
2	水泳	競泳	少年女子 A	栃木県	メドレーリレー 400 m	1	8	66.5
			成年女子	清水 咲子	個人メドレー 200 m	2	7	
			少年女子 B	笹原世玲菜	自由形 100 m	4	5	
			少年女子 A	今井 彩香	背泳ぎ 200 m	4	4.5	
			少年女子 A	栃木県	フリーリレー 400 m	5	4	
			成年女子	菊池 優奈	自由形 400 m	5	4	
			少年男子 B	田北 峻	自由形 100 m	6	3	
			少年男子 B	細澤 知弘	自由形 50 m	6	3	
			少年女子 A	岸 愛弓	平泳ぎ 200m	6	3	
			少年女子 A	長濱 瑠花	自由形 400 m	6	3	
			少年女子 A	岸本 梨沙	自由形 50 m	6	3	
			少年男子 B	栃木県	メドレーリレー 400 m	7	2	
			少年女子 B	笹原世玲菜	個人メドレー 200 m	7	2	
			少年男子 B	細澤 知弘	バタフライ 100 m	8	1	
		少年男子 B	高橋 航希	平泳ぎ 100 m	8	1		
		飛込	成年女子	榎本 遼香	飛板飛込	1	8	
成年女子	榎本 遼香		高飛込	4	5			
3	ホッケー	成年女子	栃木県(グラクソスミスライン)		4	40	124	
		少年男子	栃木県		1	64		
		少年女子	栃木県(今市高校)		5	20		
4	ボクシング	成年男子	猪瀬 勝一	ライトウェルター級	3	5.5	29.5	
		成年男子	高倉 久生	ライトヘビー級	3	5.5		
		少年男子	稲元 純平	フライ級	3	5.5		
		少年男子	尾花 瞬夢	ミドル級	3	5.5		
		成年男子	工藤 裕輝	フライ級	5	2.5		
		成年男子	落合佑季也	ウェルター級	5	2.5		
		少年男子	黒柳 禅	ウェルター級	5	2.5		
5	レスリング	少年男子	石川 瑞樹	フリースタイル 120 k g	2	7	17.5	
		少年男子	鹿子嶋 功	フリースタイル 55kg	3	5.5		
		少年男子	増淵 順太	フリースタイル 84kg	5	2.5		
		少年男子	杉田 周平	グレコローマン 60 k g	5	2.5		
6	ウエイトリフティング	少年男子	山根 大地	69 k g 級スナッチ	1	8	32	
		少年男子	山根 大地	69kg級クリーン&ジャーク	1	8		
		少年男子	小林 拓斗	+105kg級クリーン&ジャーク	3	6		
		成年男子	田中 孝明	77kg級クリーン&ジャーク	4	5		
		少年男子	小林 拓斗	+105kg級スナッチ	6	3		
成年男子	田中 孝明	77kg級スナッチ	7	2				
7	自転車	成年男子	坂井 洋	スプリント	6	3	3	
8	馬術	少年	栃木県	団体障害飛越	2	7	7	
9	フェンシング	成年男子	栃木県	エペ	5	12	12	
10	柔道	成年男子	栃木県		5	12.5	37.5	
		少年男子	栃木県		4	25		
11	ソフトボール	成年男子	栃木県(ホンダエンジニアリング)		3	44	44	
12	弓道	成年女子	栃木県	遠的	2	21	42	
		少年男子	栃木県	近的	4	15		
		成年男子	栃木県	近的	7	6		
13	ライフル射撃	少年男子	伊豆井拓実	B R S 30	2	7	32	
		少年女子	野口早也佳	B R S 40	2	7		
		成年男子	村山 敦史	C P 60	3	6		
		少年女子	野口早也佳	B R S 20	4	5		
		成年男子	小林 郁弥	10 m S 60	5	4		
		少年男子	伊豆井拓実	B R S 60	7	2		
		少年男子	木村 圭吾	B P 40	8	1		
14	剣道	少年男子	栃木県		5	12.5	12.5	
15	山岳	成年男子	栃木県	ボルダリング	2	21	51	
		成年男子	栃木県	リード	3	18		
		成年女子	栃木県	ボルダリング	5	12		
16	空手道	少年男子	渡辺 湧	組手	3	6	6	
17	銃剣道	少年男子	栃木県		6	9	9	
		少年男子	栃木県		6	9	9	
18	クレー射撃	成年	栃木県	スキート	2	21	33	
				トラップ	5	12		
19	ゴルフ	成年女子	栃木県		4	13.5	13.5	

特別競技：高校野球(軟式) 少年男子 栃木県(作新学院) 第1位

629.00

☆☆☆ 第70回国民体育大会主な活躍 ☆☆☆



競泳少年女子Aメドレーリレー
優勝 栃木県(今井・岸・寺山・岸本)



ホッケー少年男子
優勝 栃木県選抜



山岳 ポルダリング
第2位 栃木県(芝田・檜崎)



柔道少年男子
第4位 栃木県(関・飯島・新井・佐俣・太田)



ボクシング 成年男子 フライ級
第5位 工藤裕輝



フェンシング成年男子
第5位 栃木県(星野・萩原・飯塚)



銃剣道 少年男子
第6位 栃木県(神谷・高津・瀬野尾)

(写真提供:下野新聞社)